

# 5月富貴クラブレース 帆走指示書

## 1.適用規則

セリング競技規則(RRS)2017-2020 及び本帆走指示書とする。

## 2.艇長会議、出艇申告

艇長会議 平成 30 年 5 月 13 日(日) AM8 時 30 分から 富貴クラブハウスにて  
出艇申告 艇長会議時申請する。

## 3.競技者への通知

レース本部からの通知及び帆走指示書の変更等は、レーススタート予定時刻 10 分前までに、本部艇から通知する。  
(L 旗掲揚、白板掲示等)

## 4.レースの日程

平成 30 年 5 月 13 日(日) 予告信号 AM9 時 55 分

## 5.レース海面

レースは、衣浦防潮堤より、南 沖合

## 6.コース

コースは艇長会議で通告する。またコースの変更及び短縮はしない。

## 7.マーク

マークは、ルンツァ色パイを使用する。

## 8.コミッティボート:本部艇

臥竜 V Yamaha33S ハルの色白色 石川三郎 090-4859-1307  
本部艇には、ルンツァ色旗を、掲揚する。

## 9.スタート

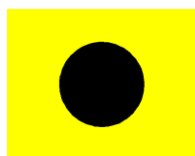
A)スタートは、RRS26 を用い、クラス旗は富貴クラブ旗を使用する。

信号	旗と音響信号	スタート信号までの時間
予告	富貴クラブ旗:音響1声	5分
準備	P 旗または I 旗:音響 1 声	4 分
1 分前	準備信号の降下;音響 1 声	1 分
スタート	富貴クラブ旗の降下;音響 1 声	0 分

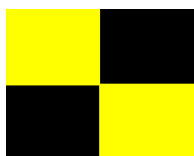
B)スタートラインは、ポートの端となるルンツァ色のマークと、スタートの端となる本部艇のルンツァ色旗掲揚ポートの間とする。  
レース艇はスタート信号後、10 分以内にスタートしなければならない。同時刻までにスタートしなかった艇は、DNS とする。



P 旗 4 分前



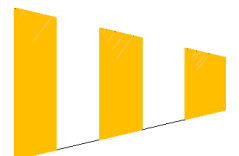
I 旗 1 分間ルール



L 旗 声の届く所へ来い



Y 旗 ライザジャケット着用



回答旗 スタート延期



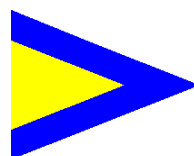
S 旗 コース短縮



X 旗 リコールあり



N 旗 中止



第一代表旗 セリコ

## 10. 個別のリコール

リコール艇があった場合には、本部艇に X 旗を掲げ音響信号1声が、発せられる。掲揚の時間は、すべてのリコール艇がスタートライン、又はその延長線の「スタート・サイト」に完全に入るまで、また規則 30.1 が適用された場合には、それに従うまでとする。但し、スタート信号後の 10 分以内とする。

## 11. ゼネラルリコール

スタート信号時に、スタートラインの「スタート・サイト」にいる艇、もしくは規則 30 の適用を受ける艇を特定できない場合、又はスタートの手順に誤りがあった場合、本部艇にゼネラルリコール信号の第一代表旗を掲揚し、音響信号 2 声を発する。第一代表旗は次の予告信号 1 分前に降下する。

## 12. スタートの延期

スタートの延期は、本部艇に AP 旗を掲揚し、音響信号 2 声を発して通知する。スタート予告信号は AP 旗降下1分後とする。

## 13. コースの変更

ありません。

## 14. コースの短縮

ありません。

## 15. レースの中止

レースの中止は、本部艇に N 旗を掲揚し、音響信号 3 声を発して通告する。

## 16. タイムリミット

タイムリミットは、スタート後 4 時間(240 分)とする。タイムリミット以前にフィニッシュ出来なかった艇は DNF とする。

## 17. 抗議

抗議は、受付ない。

## 18. 失格に代わる罰則

RRS 第 2 章の規則違反については、失格に代わる罰則として(720° 回転)の罰則が適用される。

## 19. レース旗

- A) レース参加艇は富貴クラブ旗を予告信号からレース終了まで、もしくは棄権するまでバックステイに掲揚しなければならない。
- B) レースを棄権した艇は、直ちにレース旗をおろし、速やかに本部艇に報告しなければならない。

## 20. ライフジャケット

乗組員全員はライフジャケットを着用しなければならない。

## 21. レース委員会(レース本部)の所在

平成 30 年 5 月 13 日(日) AM8 時 30 分から PM4 時まで本部艇  
レース委員長:河崎金徳 090-3150-9659

## 参考 JSAF 外洋レース規則 第 7 条 エンジンの使用

落水者救助、遭難艇(船舶)救助、衝突回避、その他緊急事態に対処するためにエンジンを使用することが出来る。但し、エンジンを使用した場合には、その状況(使用した目的、時間、場所等)についてフィニッシュ後レース委員会に速やかに報告しなければならない。

漁船、その他一般動力船との出会いでは、衝突回避が最優先です。微風時、視界不良時には エンジン使用が衝突回避に有効な場合があります。無用なトラブルを避け、遠慮なく活用し、報告してください。